



互いに支え合い、生きる意味を実感できる社会づくりの実践を宣言します。

民主 小平版  
PRESS MINSHU

5月号

市議会レポート

小平市議会議員

# 石毛航太郎

いしげこうたろう



## ＜風疹の予防接種の一部費用助成について＞



都内では、昨年の夏から成人男性を中心に風疹の流行が続いています。

妊娠初期の女性がかかると赤ちゃんに障害が出るおそれがあり、今回の流行で既に全国で

10人の赤ちゃんが「先天性風疹症候群」と診断されているそうです。風疹は免疫の無い女性が妊娠中、(特に妊娠初期)に感染すると、(白内障、先天性心疾患、難聴などの症状)になる恐れがあり、**小平市では風疹の予防接種の費用助成を開始**しました。

詳しくは・小平市健康課予防係・保健指導係  
電話：042-346-3700

## ＜小平市長選挙＞

市長選挙から早、1カ月が経ちましたが、選挙結果は下記の結果となりましたことご報告致します。

小林正則 33106 票

永田政弘 19108 票

小方蔵人 837 票

ふるかわとおる 475 票



小林正則市長が目指す、協働と自治の社会づくりを更に推進し、市民が、生き活きと小平で、生活が出来るよう、市民の皆様の声を市政に届けてまいります。

三期目の小林市政に更に期待！！

## 都計道 3・2・8 号線についての住民投票実施へ

都内で初めての住民投票が、小平市で実施されることになりました。

平成 25 年 3 月 27 日に、小平市議会にて議決され、来る 5 月 26 日(日)、都市計画道路 3・2・8 号府中所沢線(現在の府中街道の西側に出来る新しい道路)についての住民投票が行われます。この事業は、東京都が行う都市計画道路事業で、現在北は所沢から青梅街道まで、南は五日市街道から南側で拡幅工事や、用地買収などすでに開始しています。都が行う事業ではありますが、小平市内を通る道路計画でもあることから、住民投票を求める市民の署名が法定数以上集まりました。3 月議会に都市計画道路 3・2・8 号府中所沢線の計画を見直すべきか意思を問う条例案が出され、賛成多数で可決、その後 4 月 24 日の臨時議会において市長が条例改正案を提出しました。

改正案の内容は小平市内の有権者数の 50%に投票率が達しない場合は、住民投票自体が成立しないという内容の改正案です。この改正案も賛成多数で可決されました。都内の自治体で住民投票条例が可決し、実施されるのは小平市が初めてとのことです。

近隣住民の方々には、道路計画を前提に引っ越してきた方、交通渋滞を早急に解消する必要があると考える方、一方で道路予定地になっている雑木林がなくなることに反対の方、また、今後の東京都の交通予測への疑問がある方など、道路計画について様々な意見があります。私は、40 数年前から道路計画に対して議論があることから、住民投票の実施について賛成を致しました。なお道路計画については、東京都及び小平市のホームページや市報等でご覧下さい。



# ☆自己肯定感を高める教育を☆

滋賀県大津市の中学校で起こったいじめによる自殺を重大な問題ととらえ、平成24年7月に都内全公立小・中学校で児童・生徒からの情報を把握するため、「いじめの実態把握のための緊急調査」が実施された。いじめによる悲しい事故を起こさないよう、議会にて質問した。

**質問要旨** アンケート結果でいじめや、いじめと疑われるものに対してどのように対処したか。

**答弁要旨** 結果を受け、児童・生徒から、直接教師が、いじめと記載されていたものや、いじめと疑われるものに関して聞き取り調査を行った。

**質問要旨** 今後の取り組みへの考えは

**答弁要旨** 大津市の件では、いじめに関して友達は情報を持っていたということが現場で認知をしていなかったということ。いじめの情報を子どもが持っているかもしれないということで、今回個別の面談もし、9月、10月の追跡で必ずやいじめゼロ件にしていく決意で東京都に数字を上げている。子どもたちが毎日、安心・安全で暮らしていける体制をつくりたい。

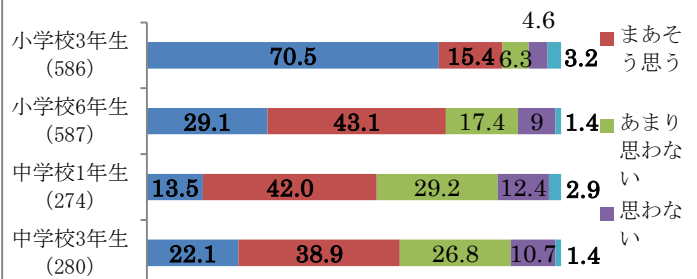
**質問要旨**

小平市の教育に関するアンケート調査で「自分を大切な存在だと思うか」という項目においての結果を見ると、総じて、小学校から中学校にかけて肯定的な回答の割合が低くなっている。

これからの子どもたちがどのように、自分自身が、かけがえのない存在であるということ認識するような教育を行っていくか、私はとても重要なことだと思う。

自尊感情を高める教育が、いじめを減少させる可能性があるのではないかと考えるが、今後小平市はどう考え進めていくのか。

[自分を大切な存在だと思うか] 単位%  
資料：小平市の教育に関するアンケート調査



**答弁要旨** 自尊感情高める教育については、現在花小金井南中学校で行われ研究されている。教育のテーマである「生きる力」には、三つの要素の「学力」「体力」「豊かな心」がある。学力や体力向上についての研究に比べ、「豊かな心」の研究というのは、科学的に検証したり、追求したりということが余りなかった。この研究においては花小金井南中学校1校にとどまらず成果を全校に広め、推進していきたいと考えている。



自己肯定感とは、「自分は自分のままであってよい」という思いを持っている人と私は理解しています。

いじめを受けると自己肯定感が傷つけられ、自分を駄目な存在だと思ってしまうようになります。また一方で、いじめ加害者も既に何らかの理由で、自己肯定感が傷ついてしまっている人ではないでしょうか。

自己肯定感とは、主に幼少期に家庭で無条件に自分を受け入れられ、愛されていると感じることで、培われていくという研究結果があります。

市でも自尊感情や自己肯定感を高めるための教育の推進に、昨年度から取り組み始めています。

すべての核となる健全な心を育てる環境作りに一層力を入れていくことを要望いたします。